

C-49 パターンメイキングのための基礎設計図の展開(第2報)

岡山就実短大 藤井美枝子

基礎設計図とは従来の原型であります。従来は围り寸法(バスト, ウエスト, ヒップ等)と高文によってS, M, L等の規格分類にとどまっておりましたが, 人のシルエット, まして洋服製作にはシルエット構成が大切で, 洋服は後ネック, サイドネックで着るといっても過言ではなく, 围り寸法, 高文の寸法のバラツキに目くじらを立てることはないこと, それより脊部や肩線のシルエットが袖くり, 衿くり, ウエスト構成に及ぼす影響の大きいことを明らかにし, 洋服製作についての測定部位, 測定方法の基準となるものの必要性を報告します。

方法 測定寸法にしたがい, 原型補正の展開, 立体平面図, 立体体型ボディの製作等を通り報告します。(第1報の測定寸法を使用)

結果 体型把握のできた原型を平面に, 直線に展開しながら, 立体構成の意義と寸法標準化について新たな検討を提案したいと思っております。被服が創り出す風格, 健康, 精神生活に及ぼす被服構成の重要性, また, 構成によって起こる危険な衣服となる点など, 時間の許される中で報告したいと思います。